

## 令和 2 年度取組実績

## (10) 北信地域の取組 ～ 北信州 つなぎ育む 人・食・農 ～

## ■ 令和元年東日本台風により被災した農地・農業用施設の復旧

## ONE NAGANO で取り組む営農再開と次代へつなぐ農業・農村の復旧・復興

- ・ 樹園地、水田等の排土及び人家、公共施設等への地すべり対策工事の実施  
(樹園地・水田等排土 39ha、地すべり対策工事 4 地区 等)
- ・ 揚水機場、畑かん施設、頭首工等の早期通水及び農業機械施設の復旧  
(揚水機場 7 か所、畑かん施設 53ha、頭首工 11 か所、等)
- ・ 農業用機械施設 (109 件) の復旧支援及び被災果樹園地における枯死調査等の実施

## ■ 第 3 期食農計画達成指標

重点 取組	達成指標	現状 (2016 年)	2020 年		目標 (2022 年)
			計画	実績	
1	新規就農者数 (45 歳未満、単年度)	34 人	36 人	25 人	36 人
	中核的経営体数	1, 226 経営体	1,271 経営体	(調査中)経営体	1, 301 経営体
2	良食味米、業務用米等の栽培面積	535ha	632ha	414ha	650ha
	果樹戦略品種等の栽培面積	253ha	358ha	360ha	460ha
3	アスパラガスの新植・改植面積	89ha	120ha	117ha	135ha
	シャクヤクの栽培面積	53ha	58. 6ha	46. 5ha	60ha
4	基幹水利施設 (重要構造物) の整備箇所数	—	8 か所	4 か所	13 か所
	畑地かんがい施設整備 (再整備) 面積	—	80ha	174ha	200ha
5	「おいしい信州ふード」SHOP 登録数	91 店舗	105 店舗	102 店舗	112 店舗
	農産物直売所の販売額	15. 6 億円	16. 8 億円	15. 8 億円	17 億円
6	多面的機能を維持発揮するための活動面積	3, 503ha	3, 587ha	3, 878ha	3, 639ha
	新たに観光資源として環境整備された疏水等の箇所数	—	1 か所	1 か所	2 か所

## 重点取組 1 : 経営向上をめざす優れた担い手の育成

## ○ 「北信州農業道場」等による新規就農者の育成と多様な担い手の確保

- ・ 市町村や農業委員会・J A等の関係機関が連携し、新規就農者の情報を共有するために就農推進連絡会議を開催 (2 回) 及び就農相談活動の実施、里親研修制度や農業次世代人材投資事業 (準備型 1 名、経営開始型 4 市町村 (20 名)) により新規就農者を支援
- ・ 里親研修生等に就農計画作成時に経営シミュレーションをもとに、5 年後の経営計画作成を支援 (5 名)、就農後の経営安定に向けた個別課題解決支援 (6 名)
- ・ 意欲ある青年農業者を地域の担い手として養成するため、北信州農業道場の品目別 (ぶどう、アスパラガス) 2 コース (35 名)、選択制講座 4 講座 (98 名) を開催



【北信州農業道場簿記講座】

- ・ 女性農業者による農業経営への参画推進や地域振興に向けて 8 月に中野市で開催予定だった「北信州農村女性のつどい」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一年延期

## ○ 中核的経営体の確保と「カイゼン」等による生産性の向上

- ・ 経営効率化のため、モデル農業者 (1 件) に問題解決手法として「カイゼン」実践を指導
- ・ リーダー的農業者である農業経営士と地元県議会議員との情報交換会を開催 (1 回)
- ・ 農業委員会及び農業女性団体と連携して、農業経営に携わる各世帯員が経営に参画できるよう、家族経営協定の締結を支援 (11 件)

- 農業法人など主要な経営体を支えるサポート体制の構築
  - ・重点指導農業者 10 件(法人 5、個人 5)の内、2 件で新たな法人が設立
  - ・本年度新たに 3 件の対象者を追加し、各農業者の経営上の課題を把握し、市町村・J A と連携した伴走支援を実施
  - ・農業経営者総合サポート事業を活用した経営勉強会・個別相談会を開催（2 回）
- 多様な雇用労力の安定的確保
  - ・農福連携による障がい者雇用企業 2 社の農作物生産活動等を支援
  - ・果樹援農ボランティア事業の打合せや準備を進めていたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
  - ・ハローワークや J o b サポ等と連携して求職者と農業事業者とをマッチングする雇用促進・相談会を開催（1 回）。また、きのこの農業者に対しハローワーク等への登録推進
- 農地の利用集積（農地中間管理事業の活用）による規模拡大の促進
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集落話し合いは減少したが、市町村等と連携してアンケート結果をもとに人・農地プランの実質化を支援
  - ・農地中間管理事業による農地集積（3, 440ha）や規模拡大に合わせて、強い農業・担い手づくり総合支援事業等を活用した農業機械・施設等の導入を支援（4 市町村、6 経営体）

## 重点取組 2：米・果樹・きのこ 市場競争力のある強い産地づくり

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の生産拡大と収益性の高い米生産を推進
  - ・生育及び収穫予測情報を提供（5～9月に 11 回）、斑点米カメムシ防除実証ほを設置し効果を検討（1 か所）
  - ・良食味米の生産拡大を図るため県認証制度取得団体等に研修会や現地巡回を実施、なお予定していた検討会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
  - ・長野県原産地呼称管理制度「認定米」では 4 団体が申請し 3 団体が認定
  - ・水稻奨励品種決定ほで業務用米 4 品種の特性を把握し、J A と連携して「あきだわら」「ほむすめ舞」の生育調査を実施し、これら 2 品種の栽培指針と推進チラシを作成
  - ・酒米に係る研修会や現地巡回による栽培指導を実施、「山恵錦」では地元酒造と情報交換を行い品質への要望を聞き取ったが、P R イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
  - ・スマート農業を推進するため、水田センサーを管内 7 生産者に 13 台貸出したほか、ドローンによるリモートセンシングを「風さやか」で実施
- 収益性の高い効率的な果樹経営と高品質な果実づくりを推進
  - ・りんご「シナノリップ」の日焼け対策・着色管理等の夏期管理についての講習会を開催（1 回）
  - ・ぶどう「ナガノパープル」・「シャインマスカット」の品質向上・安定生産のための講習会を開催（3 回）。「シャインマスカット」の省力化技術実証ほを 1 か所設置
  - ・ぶどう「クイーンルージュ®」の現地適応性モデル園を設置（6 か所）、また定植技術資料を 1 回配布し、適正出荷講習会を開催（1 回）
  - ・すもも「シナノパール」のモデル園を設置（1 か所）し、果実障害対策検討会及び剪定研修会を開催
  - ・モモせん孔細菌病の防除対策資料の配布及び実態調査・指導会を実施（2 回）
  - ・令和元年東日本台風で泥土が堆積した樹園地において、枯死等生育に与える影響について調査
  - ・りんご栽培者の知識習得と栽培技術向上のための北信果樹冬期大学を開催（1 回）



【りんごの剪定講習会】

- ・産地生産基盤パワーアップ事業を活用し、無核ぶどうの高品質安定生産と長期出荷を進める果樹棚、冷蔵庫・加温機等の導入（17.6ha、33件）、高級すもも等の生産拡大を図る果樹棚の整備（30a）
- **きのこ経営管理力の強化、JGAP等安全・安心・環境対策を支援**
  - ・きのこ生産者（1経営体）のJGAP取得のための内部監査を実施（5回）
  - ・異物混入防止のための巡回指導を実施（2回）
  - ・ハローワーク等と連携して求職者ときこの事業者とをマッチングする雇用促進・相談会を開催（1回）
  - ・使用済みきのこ培地の再利用や堆肥化等についての研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。バイオマス施設等への聞き取り調査（3回）
- **環境にやさしい農業やGAP等農産物の安全・安心な取組を強化**
  - ・「信州の環境にやさしい農産物認証制度」の周知及び施肥・防除計画作成の相談等を通じて、新たな取組者を2件確保
  - ・国際水準GAPの理解の促進を図るため、農業道場等において情報を提供
  - ・GAP手法の取組を推進するため、生産部会等への巡回指導（2回）、説明会（1回）を開催
  - ・環境保全型農業直接支払交付金等の周知と2村に対し補助金執行等を支援

### 重点取組3：野菜・花き・畜産 特色ある多彩な農産物等の生産強化

- **アスパラガス産地の再構築と果菜類（ズッキーニ・キュウリ等）を拡大**
  - ・アスパラガスの生産量回復に向けて、技術実証ほを設置（雨よけ施設1・排水対策2・土壌病害対策1）し、研修会を開催（4回）、信州農業生産力強化対策事業等を用いた雨よけ施設の導入検討2件
  - ・ズッキーニ・キュウリの優良品種選定ほ設置（2か所）、耐病性・商品性等の検討、ウイルス病感染対策の検討及び現地導入
- **シャクヤクの有利販売と露地花き品目（ソリダゴ・ヒペリカム等）を拡大**
  - ・シャクヤクの品種展示ほ設置（1か所）、促成栽培による早期出荷を図るための施設化と品種の多様化を推進
  - ・省力的で特色ある宿根草などの多品目栽培を進めるため、新規栽培者のモデルほ場を設置（2か所）し、栽培技術支援を実施
- **地域ブランドである畜産物の安定生産を支援**
  - ・畜産農家の経営安定のため、畜特資金等による経営改善計画の作成（2法人）支援
  - ・信州プレミアム牛肉の増産を目指したET子牛の生産頭数を36頭確保するとともに、信州あんしん農産物（牛肉）生産認定農場の取組を支援
  - ・特定家畜伝染病の発生予防とまん延防止のための担当者会議（1回）、防疫演習（1回）実施、畜産農家の新型コロナ対応について検討会（1回）、情報提供（6回）の実施
- **ぼたんこしょう等の地域の特色ある伝統野菜の安定生産を支援**
  - ・ぼたんこしょうの生産安定に向けた栽培講習会（1回）、巡回指導（2回）を実施
  - ・「斑尾ぼたんこしょう祭り」の開催支援については、祭りが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
  - ・各種伝統野菜のほ場巡回（各品目4回）を実施、原種センターへの種子の保存を働きかけ（2品目）、採種マニュアルは継続検討



【アスパラガス栽培研修会】

### 重点取組4：持続的な農業生産活動を支える基盤整備

- **基幹水利施設の機能を維持するための機能保全計画の策定と整備・更新**
  - ・機能診断に基づく基幹水利施設の機能保全計画の策定とともに、基幹水利施設の長寿命化を

図るため、八ヶ郷地区（中野市）、中野地区（中野市）、飯山中部地区（飯山市）、柳原地区（飯山市）、夜間瀬剣沢地区（山ノ内町）、大沼池地区（山ノ内町）で管路や頭首工等の整備・更新工事を実施

- ・重要構造物（揚水機場、水管橋、水路トンネル）の重点的な整備に向け、特に緊急性のある施設の調査設計を実施

○ 畑・樹園地の収益性を維持し、高めるための畑地かんがい施設の整備・更新

- ・りんご、ぶどう、ももの収益性を高め品質を確保するため、畑地かんがい施設の老朽化が著しい中野西部地区（中野市）、横手畔ノ上地区（山ノ内町）でポンプや電動弁等の整備・更新工事を実施



【飯山中部地区の頭首工】

○ 担い手への農地集積につながる農地の耕作条件の改良・改善

- ・担い手への農地集積のため、水利施設等を整備し、耕作条件を改善
- ・水管理や草刈りの省力化が図れるよう水路の暗渠化などの取組を実施

## 重点取組 5：地元「食」の魅力の共有・発信と地消地産の推進

○ 「おいしい信州ふード」・地元農産物の魅力の共有と県内外への発信

- ・「おいしい信州ふード」SHOPの候補店へ情報提供し、新たに6件登録
- ・地元農産物等の各種PRイベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・常盤牛蒡等の知名度の向上・利用拡大のため、料理講習会を開催（1回）するとともに、高校生と飲食店とのコラボフェアを開催

○ 飲食店、宿泊・学校給食施設等における地元農産物の食材利用・地消地産を促進

- ・飲食店等における地元食材を活用した料理フェアを開催（アスパラガス1回・きのこ1回）（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催期間の短縮等あり）するとともに、給食事業者の栄養士・調理師等を対象に料理提案会を開催（きのこ1回）
- ・地元食材を使った料理講習会を開催（2回、11月前坂大根漬物講習会、12月地元農産物利用魅力アップ講座）



【食育としての伝統料理講習会】

○ 学校や地域において、次代を担う子どもたちを中心に食育を推進

- ・郷土料理を伝えるため、笹寿司の講習会を開催（1回）
- ・農村生活マイスター協会、飯山女性団体連絡会と連携し、高校生を対象に食育活動（笹寿司講習会）を実施（1回）

○ 地元農産物の販売拠点となる農産物直売所の機能強化を支援

- ・直売所出荷者の生産技術向上を図るため、栽培講習会を3回開催した。
- ・直売所の機能強化に向けたHACCP研修会を開催（1回）

○ 農業者と2次・3次事業者が連携した6次産業化等による農産物の付加価値化を支援

- ・地域推進員やプランナーと連携して、6次産業化総合化事業計画の策定支援（2件）と認定事業者の事業化支援（2件）
- ・6次産業化を推進するため、認定事業者・農産物加工業者を対象にHACCP研修会を開催（1回）
- ・雪中貯蔵・雪室熟成に関する庁内連絡会議（1回）、利活用セミナー開催支援（1回）。また元気づくり支援金等を活用し雪室利活用を推進

## 重点取組6：農村が有する多様な資源の維持・活用と農村の活性化

- 農業・農村の多面的機能の維持や農業生産活動の継続に向けた地域ぐるみの共同活動を支援
  - ・多面的機能支払事業の取組を拡大し、農地・水路・農道等の保全活動、農業生産活動の継続など地域ぐるみの共同活動を支援
  - ・中山間地域等直接支払事業に係る棚田振興計画の作成支援（1件）及び将来を見据えた集落戦略など自律的かつ継続的な農業生産活動を支援（114集落協定、1,313ha）
- 中山間地に立地する農村の保全（ため池・地すべり防止施設・水路の保全）
  - ・永田地区のため池耐震対策に係る工事に着手
  - ・地すべり防止区域内の安全性を確保するため施設の老朽度を調査し、上境・分道・後谷・細越・堂平地区の長寿命化計画を策定
  - ・地すべり防止区域（上境・分道・後谷・堂平・太田入・間方）において、調査解析業務及び対策工事を実施
  - ・農村地域の安全・安心を確保するため、ため池のハザードマップ整備等を支援
  - ・近年の豪雨等による湛水被害を防止するため、木島地区の湛水防除計画を策定
  - ・融雪期に多く発生する中山間地の山腹水路の崩壊などに備え、雪に強い水路を整備
- 荒廃農地の発生防止や再生・活用と野生鳥獣対策を支援
  - ・農地の有効利用を図るため、農地利用最適化交付金により農業委員会の活動を支援
  - ・飯山市が作成する電気柵導入に向けた鳥獣害防止計画の改訂支援及び電気柵の設置に係る説明会を開催（1回）
  - ・電気柵の適正な管理を図るため、中野市・山ノ内町と連携しパトロールを実施（2回）
  - ・養鶏農家にイタチ・キツネ対策として電気柵を設置（展示は1か所）、畜産農家にクマの侵入防止のため電気柵の設置方法を指導
  - ・ニホンジカやイノシシ等からの被害を防止するため、飯山市での電気柵導入に向けた計画整備の支援と設置に係る説明会を開催（1回）
- 地域住民の参加による農村コミュニティの活性化を支援
  - ・多面的機能支払事業等による水路等の保全活動を契機として、地域住民も参加する共同活動への拡大や活動の継続を支援
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、農ある暮らしを志向する移住者等と話はできなかったが、市町村等へ情報提供を実施
- 農業資産・農村資源を観光等に活用した農村の活性化を推進
  - ・市町村と連携して疎水・ため池・棚田などの農業資産を活用した農業・観光の情報を発信するため、農業資産カードの作成・スタンプラリーの実施
  - ・野沢温泉村・飯山市において、疎水が持つエネルギーを小水力発電に活用し、売電益により農業用施設の維持管理費を軽減できる発電施設の工事着手及び支援
  - ・「食文化」をテーマとしたツーリズム等の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



【獣害対策としての電気柵設置】